

略 歴

昭和 19 年 10 月 7 日	福島県南会津郡に生まれる
昭和 38 年 4 月 1 日	任 巡査 警察官拝命 (初任科 30 期)
昭和 39 年 3 月 27 日	巡査 柏警察署
昭和 39 年 3 月 31 日	巡査 柏警察署我孫子駅前警察官派出所
昭和 41 年 3 月 22 日	巡査 柏警察署警備課警備係
昭和 42 年 10 月 1 日	巡査長 柏警察署警備課警備係
昭和 43 年 4 月 4 日	任 巡査部長 警備部警備第一課主任
昭和 45 年 4 月 1 日	巡査部長 警備部公安課 (課名変更)
昭和 47 年 3 月 22 日	任 警部補 船橋警察署警備課警備係長
昭和 48 年 3 月 12 日	警部補 千葉県警察官辞職 警察庁警部補任命 関東管区警察学校教官
昭和 50 年 3 月 19 日	警部補 警察庁警部補辞職
昭和 50 年 3 月 20 日	警部補 千葉県警察官任命 警備部公安課調査第三係長
昭和 51 年 3 月 27 日	警部補 公安課調査第二係長
昭和 53 年 2 月 18 日	任 警部 警務部警務課
昭和 53 年 9 月 22 日	警部 習志野警察署外勤課長
昭和 54 年 8 月 24 日	警部 松戸警察署警備課長
昭和 56 年 4 月 16 日	警部 警備部警備課課長補佐
昭和 57 年 2 月 25 日	警部 警備部警備第二課課長補佐 (組織改編)
昭和 59 年 3 月 5 日	警部 旭警察署次長
昭和 61 年 2 月 21 日	任 警視 新東京国際警察署警備官
昭和 63 年 2 月 18 日	警視 総務部総務課管理官
平成 2 年 2 月 1 日	警視 総務部総務課理事官
平成 3 年 2 月 5 日	警視 警ら部鉄道警察隊長
平成 4 年 8 月 1 日	警視 地域部鉄道警察隊隊長 (組織改編)
平成 5 年 2 月 16 日	警視 千葉県警察官辞職 警察庁警視任命 警備局公安第二課課長補佐
平成 7 年 2 月 8 日	警視 千葉県警察官任命 生活安全部少年課長
平成 8 年 2 月 8 日	警視 大原警察署長
平成 9 年 9 月 11 日	警視 千葉市警察部総務課長兼同部企画調整課長

平成 11 年 8 月 23 日	警視	総務部参事官兼千葉市警察部総務課長 兼同部企画調整課長
平成 12 年 2 月 28 日	警視	千葉南警察署長
平成 13 年 8 月 27 日	警視	地域部参事官
平成 14 年 8 月 26 日	警視	警務部付き
平成 14 年 9 月 1 日	退官	
平成 14 年 10 月 1 日		八千代中央自動車学校校長 就任
平成 16 年 9 月 30 日	同校	退職
平成 17 年 4 月 1 日		千葉大学大学院講師 (非常勤)
平成 19 年 12 月 15 日		学校法人塩田学園 ひまわり幼稚園理事長 就任
平成 23 年 5 月 1 日		NPO 法人ちば危機管理研究支援センター理事長 就任
平成 24 年 4 月 1 日		千葉大学ジェネラルサポーター 就任
令和 元年 3 月 25 日		子育て支援員資格取得
令和 元年 5 月 22 日		千葉市幼稚園協会勤続 10 年表彰
令和 2 年 4 月 30 日		千葉市地域貢献者褒賞受賞 永眠 (享年 76 歳)



ご挨拶

本日はご多用中のところ、弊学園及びNPO法人ちば危機管理センター理事長「塩田 幸廣(星 幸広)を偲ぶ会」にご参列いただき、誠にありがとうございました。故人はいかなる時も「全力投球」をモットーとし、どのような状況下でも明るい笑顔で前向きに人生を歩んできました。

人生の前半は警察官として世の中に尽くし、後半は幼稚園の理事長、そしてNPO法人ちば危機管理センター理事長として、教育界に尽力しました。絵画、剣道(六段錬士)、柔道(三段)など、趣味も豊富で、たくさんの方々と関わることを何よりの楽しみとしておりました。

ここに、故人が賜りましたご厚誼とご高配に対しまして、心から御礼申しあげます。

学校法人塩田学園 認定こども園 ひまわり幼稚園
理事長 塩田 梨佳
園 長 腰越 早苗

「星先生を偲ぶ会」に寄せて



とうとう最後のお別れを申し上げるときが参りました。平素から尊敬してやまない先輩が亡くなられ、後輩の私が追悼文を寄せることになろうとは思っても至らぬ出来事であり、改めて人の命の儚さにご縁の不思議を痛感しています。

先輩が警察庁に出向され、要人警護の仕事をなされているときに、同じ部屋で仕事をご一緒させていただいたのがご縁の始まりで、以来、言わば弟分として公に亘って可愛がっていただきました。謹んで「先輩、ありがとうございます」とお礼申し上げます。

その後、先輩は県警本部の少年課長、千葉南警察署長、地域部参事官と順調にご栄進されましたが、「兄貴分」「弟分」の関係は、共に現役を終えた今も、つい先頃まで変わらぬものとして続けました。仕事のみならずプライベートでもお酒や麻雀など大人の遊びも随分とご一緒させていただきました。

退官後には教育界に身を転じ、千葉大学講師やジェネラルサポーター、ひまわり幼稚園理事長を務める傍ら、教育現場における危機管理を専門とするNPO法人を立ち上げ、主に教育現場の管理職を対象に、業務運営上の危機管理の在り方を指導されました。私がこのNPOの活動をお手伝いする機会を得たのも、こうした先生とのご縁の成すところでした。

先輩のお人柄を偲んでみますと、人生を貫くものは「正義のこころ」であり、「悪と卑怯を憎むこころ」だったと確信しております。その柔和な佇まいの中に、弱い人、困った人に心を寄せ、常に公の利益を重んじ、悪い奴は許さないとの強い意志が見てとれました。ひまわり幼稚園の園児にもいいDNAが引き継がれるものと、これまた確信しております。

羨ましくもあり、憧れの人であり、実に見事な生き方を送られてきたものと、心から尊敬申しあげます。

星先輩、以上でお別れとさせていただきますが、先輩に教えていただいた男の矜持を忘れることなく、堂々とした男の生き方を貫くことをお誓い申しあげます。

元 内閣官房参事官（空港危機管理官）藤瀬 一正 合掌